

# 賃上げで暮らしを守ろう! JMIUリレースト 1290人



ニコンウエストビル前での抗議・要請行動

2010年春闘がいよいよ本格化しました。

JMIUは、3月10日の統一回答日をうけて、11日、低額回答に対する抗議や大幅な上積み求めて、リレーストライキを実施。1290名が時限ストを行いました。

支援行動に参加した、阿部勝JMIU東京地本委員長は、「厳しい経済状況にもかか

わらず、有額回答を寄せた職場が昨年を上回り、額的にも若干下回る程度のものにとどまった。これは要求を出してこそ、正常な労使関係が築かれ、くらしも、企業も、そして社会も良くなるとして取り組んできた結果であり、これに企業もきちんと答えてくれたということだ。もちろん困難はあるが、たたかいに確信を与えるものとなった」と仲間を激励しました。

巨大な内部留保を持つ大企業の労働組合の多くが、「戦線離脱」するなかでのたたかいは容易ではなく、この日リレーストに立ち上がったJMIUの職場でも、連合系組合が多数を占めるところが少なからずあり、要求すら出さない組合もあります。

仲間たちはこのような厳しい壁にもたじろがず、果敢に要求実現に向けてたたかう決意を固めあっていました。

東京春闘共闘、地域の仲間が支援にかけつけました。

## 《短信》

### 反応大きい春闘ティッシュチラシ

▼「こうすりゃよくなる」の刺激的な見出しの「春闘チラシ」が、地域総行動など、各地の宣伝行動で大きな反響を巻き起こしています。▼これまでは、チラシを抜いて(捨て)ティッシュだけを持ち帰るといった例が少なからずあ

りましたが、今回は抜き取って読んでいる人が目立つと言う報告が多く寄せられています。▼2月17日の官民統一宣伝行動として取り組まれた、築地・銀座・霞ヶ関宣伝行動では、7000枚のチラシが一気に配布され、「東京国公では前代未聞のこと」の声も上がっています。



変化をチャンスに、貧困・格差の  
解消、内需の拡大を！

10国民春闘スローガン

集中回答日目前

## 「賃上げ・雇用まもれ」かけ 3.18ストライキ総決起集会 通信労組・郵産労・京王新労



ことしの春闘が、鉄鋼や自動車、電機など大企業の集中回答日(17日)を控え、最初のヤマ場を迎えようとしています。

企業側が賃上げどころか定期昇給さえ抑えようとし、大企業の労働組合のなかには賃上げ要求を見送るところもありますが、労働者にとって雇用を守るとともに切り下げられてきた賃金を引き上げることは、人間らしく働き、暮らしていくうえで欠かせない要求です。

こうしたなか、東京春闘は17日の集中

回答日をうけ、18日に低額回答打破、回答引き出しを求め、ストライキ行動への激励や社前集会、職場激励、地域パレード、宣伝などを全地域、単産で取り組むこととしています。職場、地域の行動体制を整え、春闘に勝利する基盤を固めていきましょう。

同18日は、都内において、ストライキが決行される予定です。たとえば、通信労組は、NTT本社前(大手町)にて、始業時から正午までのストライキを構えています(全労連・国民春闘が支援、激励の「3.18ストライキ総決起中央集会」を予定。午前9:40~10:40、持株会社NTT前)。また、郵産労東京は、銀座、目黒、小石川各支所で始業時から実施します。さらに、京王新労でもストを構え、経営側に要求実現を迫ります。東京地評・東京春闘も、スト支援に駆けつける予定です。職場と地域から大きな支援と参加・激励をお願いします。

## ワンポイント解説

「官製ワーキングプア」  
地方自治体では近年、緊縮財政の下、定員外の臨時・非常勤職員への置き換えが進んだ。自治体労働調査によると、その割合は政令市以外の市町村では全職員の三割を超える。保育や学校給食、図書館、公民館では半数を

超え、学童指導員や相談員は九割を超える。  
臨時・非常勤職員は基幹的業務に従事していても、パート労働法や労働契約法の適用除外とされ、正規職員との間の不均衡や格差を正す法規制は何もなく、時給千円未満が七割を超す。公務員としての雇用保障がなく、民間の解雇ルールも適用されな

いため、長年働いた末に期間満了で雇い止めにされることへの歯止めがないのが現状だ。  
良質な雇用を実現し、良質な公共サービスの提供を維持するためにも、「法の谷間」を埋める制度改正が求められている。「連合通信・隔日版」